

# 知事記者会見の概要

日 時：令和3年5月14日(金) 17:03～17:22

場 所：502会議室

出席者：知事、防災くらし安心部長、健康福祉部長、医療統括監、  
広報広聴推進課長

出席記者：15名、テレビカメラ5台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事等が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応について

### フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：山新・時事・SAY>

## ☆報告事項

### 知事

急なお願いにもかかわらずお集まりを頂きまして、感謝申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症の確認状況について申し上げます。

県内では、本日 22 人の新規感染者が確認されまして、累計で 1,681 人となりました。

4 月下旬に発生した鶴岡市内の高等学校でのクラスター、これは影響が落ち着いたところでもあります。5 月に入って、新規感染者数も減少傾向となったところでしたけれども、ゴールデンウィーク中の県外からの帰省など、県境をまたぐ往来に関連する感染事例の発生や、山形市内の高等学校、またカラオケを設置している飲食店におけるクラスターが発生しまして、本日まで 3 日連続で 2 桁の新規感染者が確認されております。感染が拡大傾向になっているところでもあります。

中でも山形市内の高校で発生したクラスターでは、他校の生徒への感染も確認されておりました。今後、家庭内での感染や、地域での更なる感染拡大が懸念される場所でもあります。

こうしたことから、県教育委員会と連携して、感染防止対策を強化してまいります。

具体的には、村山地域の公立・私立の高等学校について、他校との交流制限期間を 5 月 16 日(日)までとしておりましたが、それを 5 月 21 日(金)までに延長いたします。活動内容につきましても、個人の技能を高めるものとして、密集や接触を避けるとともに、マスクを着用しても活動できる程度の内容といたします。また、全県的に「部活動緊急点検チェックリスト」により、体調確認や活動場所での検温実施など、感染防止対策の徹底を図ってまいります。

次に、変異株の確認状況について申し上げます。

4 月中旬に、県内で初めて N501Y 変異のある変異株が確認されたことを県民の皆様にお知らせをしたところでありましたが、本日まで、合計で 104 件の確認がされたところがあります。また、そのうちの 6 件については、「英国型」と確定されました。

N501Y 変異株の県内での流行状況を分析しましたところ、4 月上旬の陽性者分については、N501Y 変異の判定を行った件数に占める変異株の割合は 5%程度でありましたが、4 月中旬から下旬にかけては、過半数を占める程度にまで上昇しました。そして 5 月に入って、直近の 5 月 10 日の週では、94%にまで達したところでもあります。詳細についてはこの後、担当部局から説明してもらいます。

関西圏や首都圏で拡がりを見せる N501Y 変異株につきましては、全国的な拡がりを見せており、既に N501Y 変異株に置き換わっているとも言われておりますが、本県も同様の状況に至ったのではないかと考えております。

N501Y 変異株は、従来株よりも感染力が強く、重症化リスクも高いと言われておりますので、その流行による感染者の増加や医療ひっ迫、重症者の増加といったことに大変大きな危機感を持っております。緊張感を持って対処しなければと思っております。

次に、ワクチン接種などについて申し上げます。

新型コロナワクチンの接種につきましては、65歳以上の方の接種が始まったところですが、その進捗状況は現時点で、東京や大阪など大都市圏と並んで全国上位となっております。これはひとえに各市町村や医療関係者、医療機関の皆様のご努力によるものであり、感謝申し上げたいと思っています。

そのような中、このたび、山形大学医学部から県に対してワクチン接種への協力のお申し出をいただきました。さっそく、県として山形市にご紹介したところであります。山大医学部と山形市との連携により、接種態勢が一段と充実し、今後のワクチン接種がより迅速かつ円滑に進んでいくものと期待をしております。

最後に、県民の皆様へお願いを申し上げます。

全国でも、16日から北海道、岡山県、広島県の3道県に緊急事態宣言の発出が予定されております。それから群馬県、石川県、熊本県の3県にまん延防止等重点措置が適用される見込みでございます。全国的に感染の再拡大が急速に進んでおります。

県民の皆様、事業者の皆様には、改めて、正しいマスクの着用、こまめな手洗い、消毒、三密回避などの基本的な感染防止対策を今一度徹底していただき、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用されている地域との往来を控えていただきたいと思います。また、新規感染者が多い地域、これは直近1週間で10万人あたりの新規陽性者数が15人を超えている地域であります。そういったところとの往来は十分に注意していただくようお願いいたします。

また、変異株の感染リスクを減らすためには、人の流れを抑制すること、人と人との接触を少なくすることが重要でありますので、事業者の皆様には、テレワークやローテーション勤務、時差出勤などの取組みを積極的に進めていただきますようお願いをいたします。

県民の皆様、事業者の皆様、市町村と一丸となって、このコロナの危機を乗り越えてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

私からは以上です。

☆フリー質問

記者

NHKの藤井です。よろしく申し上げます。変異株の件ですけれども、ちょっと聞き逃したので、東京や大阪と同じような状況とか、ちょっとその辺のところをもう一度お聞きしたいのと、あと94%というところの受け止め、あらためて教えてください。

知事

はい、わかりました。変異株の確認状況をもう一度ということですね。4月18日の臨時会見で私から、県内で初めてN501Y変異のある変異株が確認されたということを県民の皆様

にお知らせいたしました。本日まで、合計104件の確認がされたところです。また、その内の6件については「英国型」と確定されました。それから県内でのN501Y変異株の流行状況を分析しましたところ、4月上旬の頃には、変異の判定を行った件数に占める変異株の確認された割合は5%程度でしたが、4月の中旬から下旬にかけては過半数を占める程度にまで上昇しました。そして5月に入って、直近の5月10日の週では94%にまで達したところがあります。本当にものすごい勢いで、割合が多くなっている。94%といいますと、ほとんどと言っていいかもしれません。それで、関西圏や首都圏でこのN501Y変異株にもう置き換わっているとも言われているんですけども、山形県も同様の状況に至ったのではないかと分析をしているところであります。

ほんとにこのおそらく「英国型」と思われますけれども、従来型と比べて感染力が強いですし、重症化しやすい。そして若い方も重症化するということも聞いておりますので、これまで以上に感染防止対策、そのことを改めて県民の皆さん、事業者の皆さんと一緒に取り組んでいかなければと思っていますところでございます。

昨日、小売店の方からお話を聞いたんですけども、お買い物に来られるにしても、マスクをしない方がチラホラ見られるようになったということで、気が緩んでいるのではないかと、大変心配だというお声も聞いたところであります。本当に緊張感を持ってですね、変異株は大変怖いウイルスでありますので、県民の皆さんに是非これまで以上に感染防止対策をしっかり一緒にしていきましょう、ということをお願いしていて、今日皆様にお集まりいただいたところでございます。

記者

県民の感染防止対策の徹底をということですが、行政としてはこれから考えていることはありますか。

知事

そうですね。こういうふうな呼びかけをしていくということでもありますし、まず学校が地区大会といったところで、対戦した高校にも今感染が確認されているということなので、これからまたさらに学校であったり、家庭であったり、地域であったり、感染が拡大していくのではないかと大変懸念しておりますので、そういう状況だということで、行政としては、後からまた説明があるかと思えますけれども、そういった民間の小売店とも連携して、改めてマスク着用、注意喚起していくとか、それから電車通学の際にですね、また改めて感染防止対策をしっかりするということが、学校生徒や乗客の皆さんに注意喚起していくといったことが考えられるかと思っています。

記者

あともう1点だけ。高校生のクラスターの言及ありましたがけれども、これについて、対戦

相手のうんぬんというところをもうちょっと具体的に知りたいのと、そのへんの若年層でクラスター出ているということで、そのへんの受け止め教えてください。

知事

はい。大体その学校で感染が収まればいいなと思って全校検査をするということで今取り組んでいるところでございます。ですが、一週間位前ですかね、地区大会があったのは。地区大会でも対戦校だったところも念のために調べてみましたら、陽性が確認されたところでありまして、やはりかなり感染力が強いのだなと思っていますところ。そういったところで、しっかりとまたいろんな学校に広がっていますので、1つの学校にとどまらずいろんな学校に広まっておりますので、そういった部活というところもまたいろいろと注意喚起していかなければ、そういったことを強化していかなければなりませんし、若い人も重症化するというようなことも聞いておりますので、学校での感染防止策といったこともどうなっているかということも心配でありますし、いろいろな点で行政としてもできることを取り組んでいきたいと思っております。

記者

山形新聞の小田と申します。よろしくお願いいいたします。ワクチン接種の件で質問があるのですけれども、今全国的に、ワクチンの予約のキャンセル分を使って、首長の皆様がワクチンを打っているような状況が少し最近取り沙汰されています。その件についての知事の受け止めと、首長の皆さんの優先、優先というところとちょっとおかしいですけれども、打っているという状況とですね、知事ご自身のワクチン接種のご予定とかですね、既に決まっていたりとかしていれば教えてください。

知事

はい、わかりました。今、予約ということで複数の首長の皆さんがですね、ワクチン接種をされたということでニュースになっているのは私も承知をしております。ワクチン余ったのが大変もったいないということでされたというような報道内容かと思っておりますけれども、そういうこともあろうかとは思いますが、しかしそうですね、やはりその住民の皆様と同じようにされるのがよろしいのかなというふうに、一人の人間として、みんな同じ人間なのでというようなそういう考えを私は持っております。ただ、いろいろな考えがあるかと思っておりますけれども、余ったかどうかというのは例えば私の場合だとわかりませんので、そういったことは全くございません。都道府県知事のアンケートなども来ておりましたけれども、私は本当に普通の皆さんと同じような手続きで接種に臨むつもりでありますので、そういう状況です。多分、予約ということで今来月中ぐらいにというふうに思っております。